ボーリング柱状図

調　査　名　一般国道375号(引宇根工区)道路改良事業(その2)測量・地質調査・設計業務委託(交付金)

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H27－No.1	調査位置	三次市作木町唐谷			北緯	34° 48’32.87”
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	平成 28年 3月 7日 ～ 28年 3月 11日	東経	132° 45’32.47”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	143.38m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90° 東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 35°	使用機種	
総掘進長	11.00m	試錐機	東邦地下工機製D0－D型				
		エンジン	ヤンマー製NFD8			ポンプ	東邦地下工機製BG－3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	(ルジオン 標準貫入)試験 (P～QN値～深度)図 []：ルジオン値 ()：換算ルジオン値 《》：限界圧力 N値	原位置試験	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l／分)	排水量 (l／分)
1				盛土	青灰	－	－	－	－	－	現道盛土。径5～10cm程度の硬質な岩ズリを主体とする。 3.15mのN値(50/29cm)は礫打ちを反映している。全体にN値3～6とルーズである。		礫質土		6 3 50/29	1.15 (1,2,3) 1.45 2.15 (1,1,1) 2.45 3.15 (5,4,41/9)										
2																										
3	139.93	3.45														3.44										
4				崖錐堆積物	褐灰	－	－	－	－	－	平均5～10cm程度、最大50cm程度の石英安山岩礫を雑多に伴う。細粒分は砂を主体とする。 7.15mのN値（50/5cm）は礫打ちによる。全体にN値6～10とルーズである。				10 8 6	4.15 (2,4,4) 4.45 5.15 (2,2,4) 5.45 6.15 (3,3,1)			3/8	60	90／ケーシング	S／M	20／50	80	0	清水／15	0
5																6.45										
6															50/5	7.15										
7	135.88	7.50														7.20			3/9							
8	134.88	8.50		花崗岩	褐灰	D	V	d	ε	1	本地城の基盤岩をなす花崗岩。風化が進行しマサ状を呈する。	0 [0]	礫質土		44	8.15 (12,15,17/)										
9					褐灰～灰				δ		7.50～8.50m間は強風化を被り、礫混じり土砂状を呈する。 8.50m以深はN値が50を超え、徐々に締まりが良くなる。	0 [0]	D		50/24	8.45 9.15 (17,23,10/4)				80	66／裸孔	D／D	10	80	2	清水／15	10
10												0 [0]	DH		50/23	9.39 10.15 (18,22,10/3)										
11	132.38	11.00													50/19	10.38 11.10 (19,31/9)			3/10							